

令和2年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展	森林資源の循環利用を推進する林業技術の開発	森林資源の適切な管理と木材の生産・流通の効率化のための研究開発	木材需給の変動要因分析と需給変動への対応策に関する研究(主管:林産試)	18~20	道南支場	3
			ゲノム情報を利用したグイマツ雑種 F <sub>1</sub> の材強度に関する判定技術の開発(非公開)	19~21	育種育苗 G	-
			長距離ゾーンフローが卓越する針葉樹でなぜ高標高エコタイプが存在しているのか?(主管:東京大学)	20~22	育種育苗 G	5
			森林の急激な環境変化が野生植物の生態的・進化的変化に与える影響(主管:日本大学)	20~21	育種育苗 G	6
			カラマツ類優良品種の効率的な選抜のための技術開発	18~22	育種育苗 G	7
			クリーンラーチ挿し木苗の得苗率を向上させる育苗管理技術の開発	19~22	育種育苗 G	8
			グイマツ雑種 F <sub>1</sub> 挿し木幼苗の通年生産に向けた実証研究(非公開)	20~22	保護種育苗部長	-
			クリーンラーチ若齢採種圃の成長と着花に及ぼす施肥の効果検証	16~20	育種育苗 G	9
			トドマツコンテナ苗の育苗期間短縮に向けた発芽・育苗条件の解明	20~23	育種育苗 G	11
			多年生台木由来のクリーンラーチ挿し木苗の評価に関する研究(非公開)(委託元:日本製紙(株))	19~20	育種育苗 G	-
			コンテナ苗植栽機械化のための植栽機構および作業システムの検討(主管:林産試)	19~21	経営 G	12
			小型遠隔式草刈機の開発・改良のための実証試験(委託元:(株)筑水キャニコム)	20	経営 G	13
			合板用カンパ材の供給・利用可能性の評価にかかる実証試験	19~20	経営 G	14
			成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発(主管:森林総研)	18~22	経営 G	15
			高精細森林情報を用いた針葉樹人工林の地位指数推定技術の高度化	18~20	経営 G	16
			トドマツ人工林の連年成長量予測モデルの開発	20~22	経営 G	17
			衛星画像を用いた景観スケールでの山火事森林再生モニタリング手法の開発	20	経営 G	18
			UAV を活用した低コスト森林調査手法の研究	18~20	道北支場	19
			多時期の衛星画像を利用した針葉樹人工林の抽出技術の開発	19~21	経営 G	20
			針葉樹人工林の成績の違いが侵入広葉樹の群集構造と動態にどのように影響するのか?	20~22	経営 G	21
			食葉性昆虫の大規模食害による成長期の失葉下での異常な木質形成のメカニズムの解明(主管:北海道大学)	20~22	経営 G	22
			新たな付加価値を含めた木材利用を考慮した広葉樹の育成技術(主管:北海道大学)	20~22	経営 G	23
			UAV 測量による森林資源量の見える化技術の開発	20~21	経営 G	24
			ICT 技術を活用した原木丸太デジタル情報共有化技術の検討(委託元:スマート林業 EZO モデル構築事業協議会)	20~22	経営 G	25
			小鳥の渡りルートの解明は東南アジアの環境保全への支払意志額増加につながるか?(主管:森林総研)	17~20	保護 G	26
			保残伐の大規模実験による自然共生型森林管理技術の開発(主管:森林総研)	18~22	保護 G	27
			カラマツ・トドマツ人工林における風倒害リスク管理技術の構築	18~20	環境 G	28
			道北地域の森林におけるエゾシカ生息実態把握技術の開発(委託元:中川町)	19~21	道北支場長	30
			牧草被害低減と利活用率向上に向けたエゾシカ捕獲技術の確立(主管:エネ環地研)	18~20	保護 G	31

		ストレス環境を考慮したカラマツ類の病虫害抵抗性の比較	20~22	保護 G	32
		北海道で急増するカラマツの大量枯死の原因解明-病虫害と衰弱要因の解明-	20~22	保護 G	33
		病虫害特異的発現遺伝子を活用した病虫害被害木の識別	20	保護 G	34
	再生可能エネルギーなどの安定供給と高効率エネルギー利用システムの構築	再生可能エネルギーなどの活用と安定供給のための技術開発	地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装(主管:工試)	19~23	経営 G

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
森林の多面的機能の持続的な発揮	森林の多面的機能の持続的な発揮	森林の多面的機能の発揮と樹木・特用林産物の活用のための研究開発	河川横断工作物の改良による森里川海のつながり再生の影響把握(主管:環科研)	18~20	環境 G	36
			気候変動に伴う河川生態系のリスク評価:統計モデルとメソコスム実験の融合(主管:北海道大学)	19~23	環境 G	38
			温暖化に対する河川生態系の頑強性評価:微気象と連結性を考慮した適応策の構築	19~21	環境 G	39
			流域サイズの違いと地下水の寄与を考慮した窒素流出負荷評価方法の検討	18~20	環境 G	40
			治山ダム設置前後の地形・植生変化の効率的な把握手法の検討	19~21	環境 G	42
			街路樹の維持管理作業の適期と点検・診断時期の提示	18~20	樹木利用 G	43
			樹幹における共振時の振幅と異常部位(腐朽等)の広がりとの関係性の検証	20	樹木利用 G	45
			本道に自生するツルクケモモの栽培化に向けた遺伝資源の収集とクローン増殖技術の開発	17~21	樹木利用 G	47
			北海道ブランドとなるタラノキ栽培の普及	20	樹木利用 G	48
		ヤチヤナギの機能性素材の生産に向けたホルモンフリー培養細胞の獲得方法の開発(非公開)	20	樹木利用 G	-	
		地域・集落を維持・活性化するための地域システムの研究開発	持続性の高い地域水インフラの運営・再編支援システムの開発 〔【戦略研究】「持続可能な農村集落の維持・向上と新たな産業振興に向けた対策手法の確立」〕(主管:地質研)	20~24	環境 G	49
			水資源の利用・管理支援システム「水資源 Navi(地域別)」の開発(主管:地質研)	20~23	環境 G	50
		災害発生後の応急対策及び復興対策手法の開発	北海道胆振東部地震による崩壊斜面における植生回復手法の開発	19~22	環境 G	51
			2018 年胆振東部地震により発生した大規模山地災害のメカニズムと復旧方法の解明(主管:石川県立大学)	19~23	環境 G	52
		災害の被害軽減と防災対策手法の開発	十勝地域における防風林の風食防止効果の定量的評価	20~22	道東支場	53
			風由来の環境ストレスの実態解明に基づく海岸林の地形・林冠の動態モデルの開発(主管:森林総研)	18~20	道東支場	54
			防風林によるジャガイモ生産安定化:畝の風食との関係	20~22	道東支場	55
			海岸防災林の津波減災機能向上のための生物・物理モデルの開発と森林管理手法の評価	19~21	森林環境部長	56
	流木災害防止・被害軽減技術の開発(主管:国立研究開発法人森林研究・整備機構)	19~23	環境 G	57		
	海岸流木処理対策の効率化・迅速化のための漂着量把握技術の開発(主管:環科研)	19~21	環境 G	58		

\* 太字は R2 年度から始まった新規課題